



公明党は生命と暮らしを守ります 安全・安心のまちづくりに全力です!

防災・省エネに配慮 学校改築第1号の 松江小学校が完成

江戸川区では、築50年を超える老朽化した学校から、災害時の避難所機能や環境に配慮した学校改築事業を計画的に進めています。25年度には、船堀小学校、第2葛西小学校の改築工事が完成予定です。順次、春江小、松江5中、篠崎第3小、第3松江小が予定されています。



区内の106校全校で、昭和56年の耐震基準での耐震化が完了しています。

船堀橋 エレベーター・スロープ 設置実現!

船堀橋の階段とスロープは勾配が急で危険であったことから、車いすやベビーカー、熟年者に配慮したスロープとエレベーターの設置を地元区議と上野都議会議員が連携し、推進してきました。昨年には緩やかなスロープが完成し、このほど東側（船堀1丁目）にエレベーターが設置されました。安全のため、自転車から降りて利用するなど、譲り合ってください。



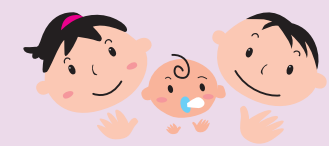
東側エレベーター設置

スロープ設置後

スロープ設置前

保育ママ、保育施設の拡充により 子育てを応援!

江戸川区では昭和44年から0歳児の家庭的な保育を目指し、保育ママ事業を行っています。平成24年10月1日現在、保育ママは204人、受託児は365人に上っています。認可保育園や認証保育所の増設、改築で待機児解消をはかり、豊かな保育環境の整備をすすめます。



保育ママ事業を視察する山口代表と公明党次世代育成支援推進本部（平成24年10月24日公明新聞より）

子ども、女性、熟年者など、命を守ります!

◎ 3 ワクチンの定期接種化へ

- ★小児用 肺炎球菌ワクチン
- ★小児用 ヒブワクチン
- ★子宮頸がんワクチン（女子中学生）
※江戸川区では20歳女性に対し、半額助成を実施



◎ 熟年者のワクチンに公費助成

- ★熟年者用 肺炎球菌ワクチン
- ★熟年者用 インフルエンザワクチン

◎ 妊婦検診の14回公費助成を恒久化

- ◎ 「がんクーポン券の発行」子宮頸がん、乳がん、大腸がん
※江戸川区では他に無料で各種がん検診を実施しています

住宅耐震助成事業の拡充 耐震化率95%も目指して

江戸川区では、大地震による被害を最小限に抑え、命と財産を守るために、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた建築物に対し耐震助成制度を行っています。平成24年9月に大幅拡充をしました。

区分	耐震診断等	耐震改修設計	耐震改修工事
戸建住宅 (木造)	(コンサルタント派遣) 無料	費用の8割 上限30万円	(住民税非課税世帯) 費用の2/3 上限150万円 費用の23% 上限100万円 (その他の世帯) 費用の50% 上限100万円 費用の23% 上限75万円
個人所有 賃貸住宅 (木造) 平成25年4月より			新設 費用の50% 戸建住宅 上限100万円 共同住宅 上限150万円
戸建住宅 (非木造)		費用の8割 上限45万円	(住民税非課税世帯) 費用の2/3 上限150万円 費用の23% 上限100万円 (その他の世帯) 費用の50% 上限150万円 費用の23% 上限75万円
分譲 マンション		助成対象経費の2/3	助成対象経費の50% 上限 1戸あたり100万円 経費の23% 75万円

江戸川区南部地域の 液状化対策を推進

平成23年3月11日の東日本大震災では、江戸川区も震度5強を観測し区南部地域において、液状化現象が発生。道路や公園を中心に水や砂が吹き出し、戸建て住宅が傾く被害が出ました。

地元区議と上野都議会議員が連携し、江戸川区の緊急災害対策に「被災住宅修復助成制度」が盛り込まれ、戸建て住宅の地盤修復費用の2/3、分譲マンションではライフラインの復旧が必要な場合に1/3の助成が実現しました。

また、希望する世帯には東北の被災者と同様の条件で、住宅の改修が完了するまで、近隣の都営住宅が提供され、被災世帯に対し全力で支援をしました。



平成23年3月11日 液状化被害